

初期見積りの精度向上のための

セミナーご案内 関連部署へご回覧願います

ITプロジェクトの初期見積り ～精度を高める見積りアプローチ～

◆日時：2016年9月21日(水) 10:00～17:20 ◆受講料：(消費税等込) 1名:48,600円
◆会場：連合会館(旧総評会館)502号室 同一セミナー同時複数人数申込の場合 1名:43,200円
(東京・JRお茶の水駅下車 徒歩約5分)

不確実性を見積るスキル、工数を見積る準備、見積り精度を 高める重点ポイント、マネジメント工数の見積り方について 演習を交えて解説する特別セミナー!!

【講師の言葉】

ITプロジェクトの企画や提案段階の「初期見積り」は、とかく「エイヤー」になってしまいがちです。顧客などから提供される情報は乏しく、開発するシステムの要件も固まっていない。あいまいな状況の中で、それでも高い精度を要求されるのが「初期見積り」ですね。「どうせ高い精度では見積もれない」とあきらめてしまう人も多いでしょう・・・この困難な命題への答えを提供するのが、この研修コースです。

これまで千数百人にのぼる研修受講者の、演習での「見積るときの思考プロセス」をもとに、「つい矛盾が入り込んでしまう」「あいまいな考え方をしてしまう」・・・「論理的でない見積り」につながる典型的な見積り事例を題材に、「考え方のどこがどうマズイのか」を演習で追求します。「見積りのあるべき手順」についてディスカッションし、のぞましい「見積りガイドライン」を作り上げることで、あなたの頭の中に「揺るがぬ見積りプロセス」が確立されます。これまで見積りのやり方に自信が持てなかった方、明確な考え方で見積れるようになりたい方にお奨めです。

- 【予備知識】** ・プロジェクト企画・提案段階の「初期見積り」、およびそれに準ずる経験
・プロジェクトマネージャやリーダー、およびそれに準ずる経験
- 【習得知識】** ・論理的な考え方に沿って、初期見積りが行える。
・見積りに入り込む、「あいまいさ」に気づき排除できる。
・見積り根拠を、論理的に考えられるようになる

◆セミナーお申込要領

- 申し込み方法
・弊社ホームページの申込欄又は、FAXかE-mailにてお申し込みください。
・折り返し、受講票、請求書、会場案内図をお送り致します。
・開催日の7日前以内のキャンセルは、お受け致しかねますので、必要に応じ代理の方のご出席をお願いします。
・開催日の7日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。
- お支払い方法
受講料は原則として開催前日までにお支払い願います。経理上、受講料のお支払いがセミナー開催後になる場合は、お支払日をお知らせ願います。振り込み手数料は御社の御負担にてお願いいたします。

●申込先

 **(株)TH企画セミナーセンター**

〒108-0014 東京都港区芝5-30-1-210
TEL:03-6435-1138
FAX:03-6435-3685
E-mail:th@thplan.com

検索 TH企画

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。
<http://www.thplan.com>

◆プログラム◆

【講師】 BizThink(ビジネス思考力研究所) 主宰 梶岡 浩一先生
日本総合研究所, アイ・ティ・イノベーション等を経て現職

<p>第1章 プロジェクトを見積るとは? ⇒「不確実性」も含めて見積る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 何故見積りギャップが生じるのか? <ul style="list-style-type: none"> ・曖昧さ・矛盾をはらむ思考 ・見落とし・過小評価 ・プロジェクトコントロールの失敗 ・ビジネス判断の影響 ○ 見積りに必要な「不確実性を見積る」スキル <ul style="list-style-type: none"> ・隠れた情報を洗い出すスキル ・不明な部分を推測するスキル ・論理的な整合性を組立てるスキル <p>第2章 見積りの準備 ⇒ RFPを分析し、不足情報を補う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ のぞましいプロジェクト見積りの全体プロセス ○ 工数を見積る準備 <ul style="list-style-type: none"> ・RFPの記載内容の整理法、不足・不明点の補完 ・機能要件/非機能要件の確認・補完 ・システム規模見積り ・リスク対策と対策工数の計上 ・見積り前提条件の整理 	<p>第3章〔演習〕 見積り精度を高める重点ポイント1 〔演習→発表→講評・解説〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「失敗見積り」の典型例を題材に、「見積り精度を高めるためのガイドライン」を作成する。 <p>【演習テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「適切な職能定義」の想定 → 「どんな人に作業させるか」で見積りは変わる。 ・「生産性データ」の用い方 → タスクに応じて、データ適用の仕方を変える。 <p>第4章〔演習〕 見積り精度を高める重点ポイント2 〔演習→発表→講評・解説〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「失敗見積り」の典型例を題材に、「見積り精度を高めるためのガイドライン」を作成する。 <p>【演習テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「マネジメント工数」の見積り方 ～作業工数とは異なる、その独自の見積り方。 ・「予備工数(余裕のバッファ)」の見積り方 → つい「エイヤー」で積んでしまいがち。 → 論理的な見積り方法は存在するか? <p>学習のまとめ 見積りガイドラインの推奨例 ・推奨する「見積りの考え方・ガイドライン」について解説する。</p>
--	--

●申込書・2016年9月21日(水)「ITプロジェクトの初期見積り～精度を高める見積りアプローチ～」

会社名	〒	住所
TEL		FAX
正式所属		正式所属
受講者名		受講者名
E-mail		E-mail
振り込み 予定		通信欄